

エコキャンパス研究会  
学生のエコ意識調査の結果

2011年8月

要約

跡見学園女子大学エコキャンパス研究会（エコ研）は、2008年5月から生活環境マネジメント学科の自主ゼミとして、跡見サステイナブルビジネス研究会（ASBI）の支援を受けて活動を開始した（2009年度からは愛好会として大学に登録している）。エコ研の目的は、学生の自主的な環境保全活動により、大学における環境負荷を低減し、地域さらには地球環境の保全に貢献することであり、現在は、エコキャップ回収、廃油からのローソク作り、ロードサポート、CSR研究、他大学や地域との交流など様々な活動を行っている。

今般、跡見学園女子大学マネジメント学部の学生を対象に、エコ研の活動の認知度がどの程度か、また、エコに対する意識はどうかを把握するためにアンケート調査を行った。

その結果、学生のエコに対する意識は高いものの、エコ研の活動の認知度は低いことがわかった。また、廃油からのローソク作りやロードサポートなどのエコ活動に参加を希望する学生が多いことも明らかとなった。

以上の調査結果を踏まえ、今後エコ研としては、廃油のアロマキャンドル作りなどの学生の参加型イベントを企画し、宣伝を工夫することにより、エコ研の活動の認知度向上を図っていきたい。

**【目的】**

跡見学園女子大学の学生がエコ研の活動をどれだけ知っているのか、エコにどのような意識があるのかを知ることにより、エコキャンパス研究会の活動を見直し、改善するため。

**【調査対象】**

マネジメント学部1，2年生を対象とした。

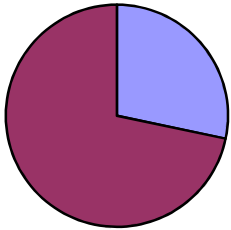
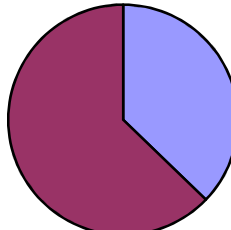
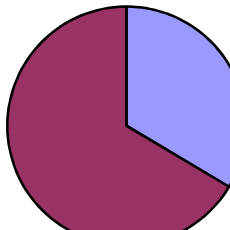
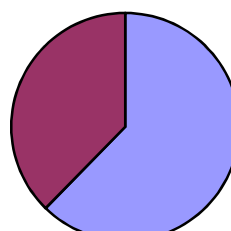
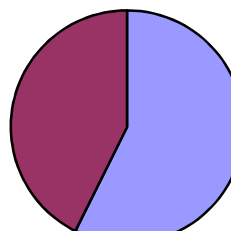
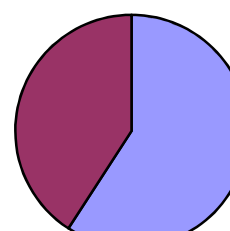
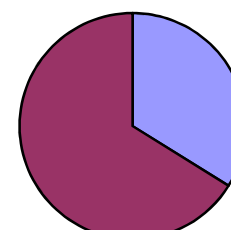
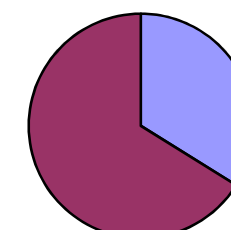
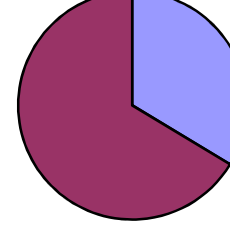
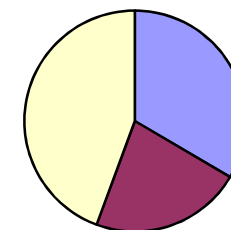
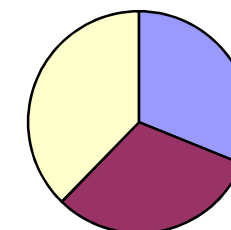
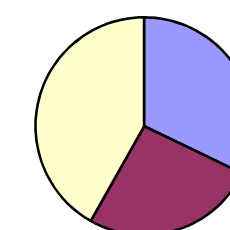
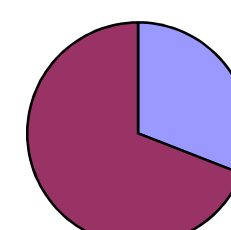
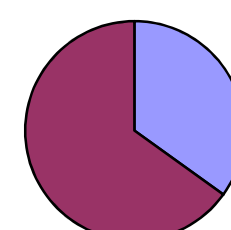
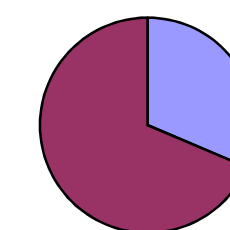
**【調査方法】**

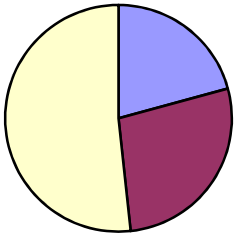
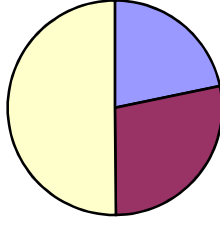
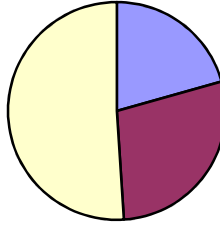
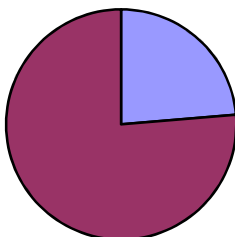
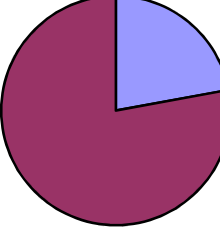
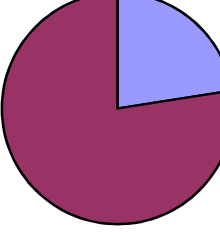
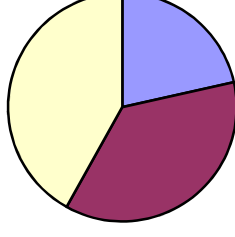
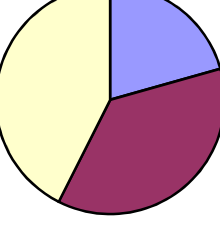
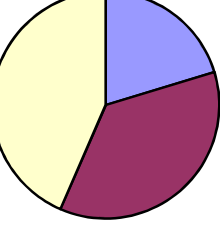
2011年6月、マネジメント学部のプロゼミ（1年）、実践ゼミ（2年）の受講生を対し、ゼミの時間内にアンケート用紙を配布し回収した。

**【集計結果】**

回答者数は、1年生272人、2年生329人、学年不明86人、合計687人であった。その結果は下記の表の通りである。なお、グラフの水色は回答1、紫色は回答2、黄色は回答3の回答者の割合である。（注：カラー印刷ではない場合、順に薄い灰色、濃い灰色、白となる）

質問	1年生	2年生	1, 2年生合計
<p>問1：普段飲み物はペットボトルで飲みますか？</p> <p>1 はい（ほぼ毎日） 2 はい（時々） 3 いいえ</p>			
<p>更問：ペットボトルはどこで入手しますか？</p> <p>1 家から持ち込む 2 外で買う</p>			
<p>問2：飲み終わった後のペットボトルは洗ってまた使いますか？</p> <p>1 はい（ほぼ毎日） 2 はい（時々） 3 いいえ</p>			
<p>問3：新座キャンパスのエコキャップ回収に協力したことがありますか？</p> <p>1 はい 2 いいえ</p>			

<p>問4：エコ研がエコ キャップ回収をし ていると知ってい ますか？</p> <p>1 はい 2 いいえ</p>			
<p>問5：廃油でアロマ キャンドルが作れ るのを知っていま すか？</p> <p>1 はい 2 いいえ</p>			
<p>問6：エコ研が学食 の廃油でアロマキ ャンドルを作っ ているのを知って いますか？</p> <p>1 はい 2 いいえ</p>			
<p>問7：アロマキャン ドルづくりに参加 したいですか？</p> <p>1 はい 2 いいえ 3 どちらでもない</p>			
<p>問8：再生紙を作っ た事があります か？</p> <p>1 はい 2 いいえ</p>			

<p>問9：再生紙作りに参加したいですか？</p> <p>1 はい 2 いいえ 3 どちらでもない</p>			
<p>問10：ロードサポートを知っていますか？</p> <p>1 はい 2 いいえ</p>			
<p>問11：ロードサポートに参加したいですか？</p> <p>1 はい 2 いいえ 3 どちらでもない</p>			

### 【調査のまとめ】

ペットボトルに関しては、8割強の学生が使っていることがわかった。そのうち4人に1人はペットボトルを家から持ってきている。さらに、全体の約7割の学生が、ペットボトルを使用後、捨てるのではなく再度使っていることもわかった。このことから学生のモノを大切にする節約意識は高いことがわかる。

しかし、大学内でのエコキャップ回収活動に協力してくれた学生も、エコ研がこの活動を行っていること認識している学生は全体の3割にとどまっており、認知度はまだまだ低い。この原因として挙げられるのは、回収ボックスの設置数が少ないことも考えられる。このため、大学内の回収ボックスを増やすとともに、エコキャップ回収活動のPRを強化していくことが今後の課題といえる。

廃油からアロマキャンドルを作れることは半分以上の学生が知っていたが、エコ研が作っていること知る学生は3人に1人とそれほど多くはなかった。しかし、3人に1人の学生がアロマキャンドル作りを体験したいという結果であった。このため、今後エコ研として、もっと多くの人にこの活動を知って

もらうために体験イベントを企画し、広く学内から参加者を募集し、認知度を高めていきたい。

再生紙作りは、実際に体験した人が3人に1人おり、また、体験を希望する人が5人に1人いることがわかった。このことから、今後、再生紙作りイベントを企画すれば、多くの人が興味を持って参加すると思われる。

ロードサポートは他の活動から比べると学生の認知度はやや低かった。これは、実施日を土曜日に設定しているため、土曜は授業も少なく登校する学生が少ないため実際に活動している様子を見る機会がないためと考えられる。そのことから、まず活動を知ってもらうために平日の一限など学生が目に触れやすい時間に実施すること、ロードサポートの実施場所を現在の学校正門からバイパスまでの道路だけでなく学内の清掃の実施や紫祭などで清掃することや、エコ研の宣伝（例えば、Tシャツの後ろに‘エコ研’と入ったものを着る等）をすることがいいかもしれない。

アンケートの回答者からの自由蘭では、エコ研はもっと宣伝すべき！という声を多数頂いた。さらにポータルに上がっていると分かりやすいなどの意見もあった。今後は、バスに貼るポスターに携帯サイトのQRコードを載せ、いつでも活動を見ることができるようになることや、校内の廊下や階段の壁にポスターに貼れるのであれば、〇〇体験作りなどイベントの宣伝ができると良いかも知れない。

以上の調査結果を踏まえて、今後は、ロードサポートや廃油のアロマキャンドル作りなどの学生の参加型イベントを企画し、宣伝を工夫することにより、エコキャンパス研究会のそれぞれ活動の認知度向上を図っていきたい。そして、学内の環境がさらによくするように努力していきたい。

今回のアンケートに協力してくださったマネジメント学部の学生の皆さまや教員の皆さま、本当にありがとうございます。私たちは、これまで学生の皆さまの意見を聞く機会もなかったので今回の結果は大変貴重なものでした。この貴重なご意見を活かし、さらに活動のレベルアップをしていきます。今後ともエコキャンパス研究会をよろしく申し上げます。

7月に行ったロードサポートの動画やエコ研の近況がわかるホームページもありますのでぜひチェックしてみてください。

公式HP：<http://www2.mmc.atomi.ac.jp/~eco-campus/>